



2025年3月期 中間決算説明会

東京エレクトロン デバイス株式会社

2024年11月6日

決算報告

取締役 執行役員副社長

佐伯 幸雄

2025年3月期 業績見込み

代表取締役社長・CEO

徳重 敦之

コーポレートオフィサー 執行役員専務

宮本 隆義

コーポレートオフィサー 執行役員

神本 光敬



決算報告

取締役 執行役員副社長 佐伯 幸雄

前年同期比 減収減益

売上高 6.7% 減少

経常利益 1.7% 減少

親会社株主に帰属する当期純利益 5.4%減少

中間業績予想比

売上高 + 1.6%

経常利益 + 11.8%

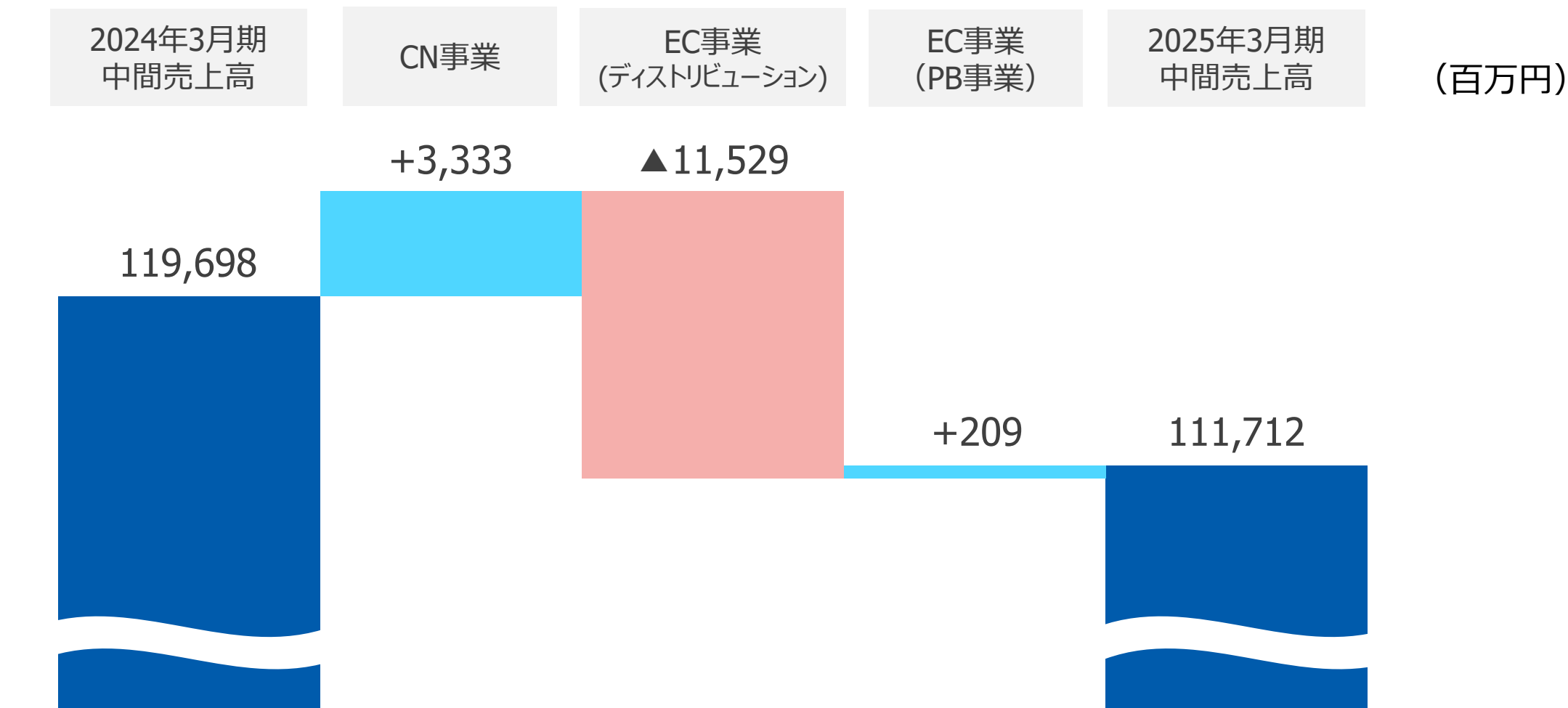
親会社株主に帰属する当期純利益 + 13.3%

業績概要 前期比

	2024年3月期 中間	2025年3月期 中間	増減額	2025年3月期予想 (4月30日発表)
売上高	119,698	111,712	▲7,986	110,000
売上原価	101,686	95,288	▲6,398	
売上総利益	18,011	16,423	▲1,588	
販管費	10,858	10,131	▲727	
営業利益	7,153	6,292	▲860	
営業外収益	185	203	17	
営業外費用	1,085	348	▲737	
経常利益	6,253	6,147	▲106	5,500
中間純利益	4,551	4,305	▲245	3,800
従業員数	1,352名	1,387名	35名	

※ 中間純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益
東京エレクトロン デバイス

業績概要 売上高 増減



セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。
PB事業には、東京エレクトロン デバイス長崎株式会社、株式会社ファーストを含んでおります。

セグメント別 売上高・利益



- CN事業 機器販売・セキュリティ製品が好調 保守・監視サービスも増加
- EC事業 顧客商権拡大も 中国市場停滞の長期化などにより低調

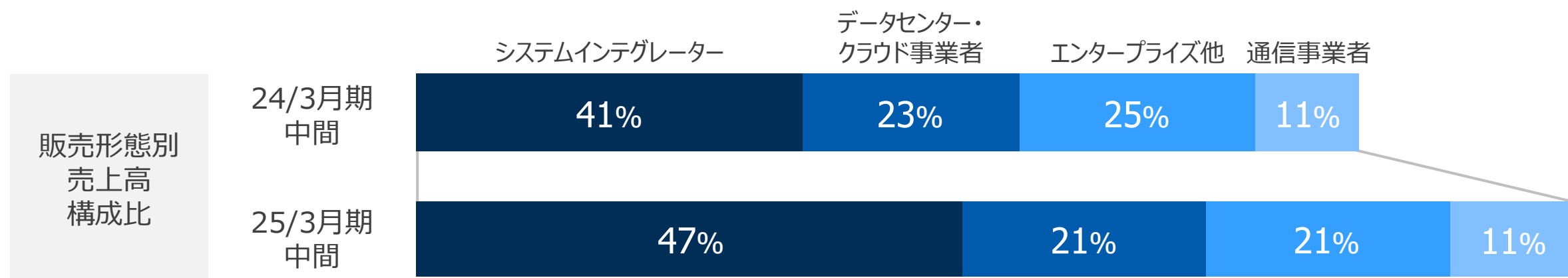
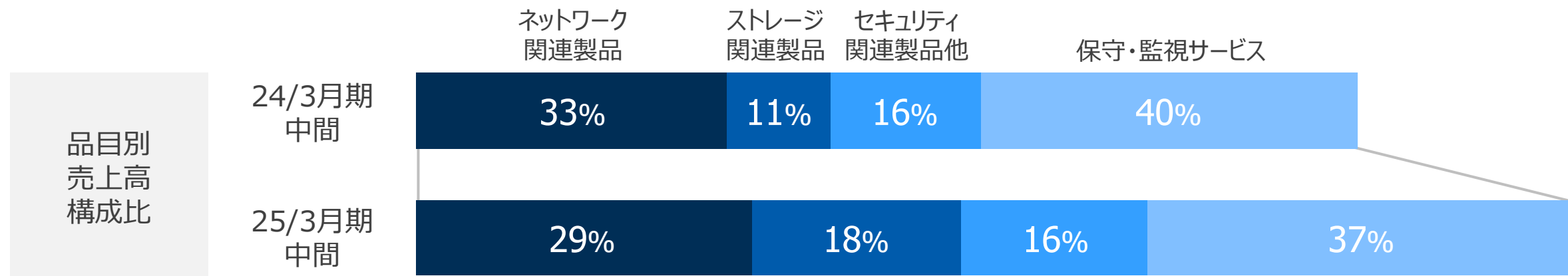
(百万円)

	2024年3月期 中間		2025年3月期 中間			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減額	セグメント利益	増減額
コンピュータシステム関連 (CN)事業	14,353	1,263	17,687	3,333	2,168	905
半導体及び電子デバイス (EC)事業	105,344	4,990	94,024	▲11,319	3,978	▲1,011
合計	119,698	6,253	111,712	▲7,986	6,147	▲106

- ※ セグメント利益は経常利益
- ※ セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。

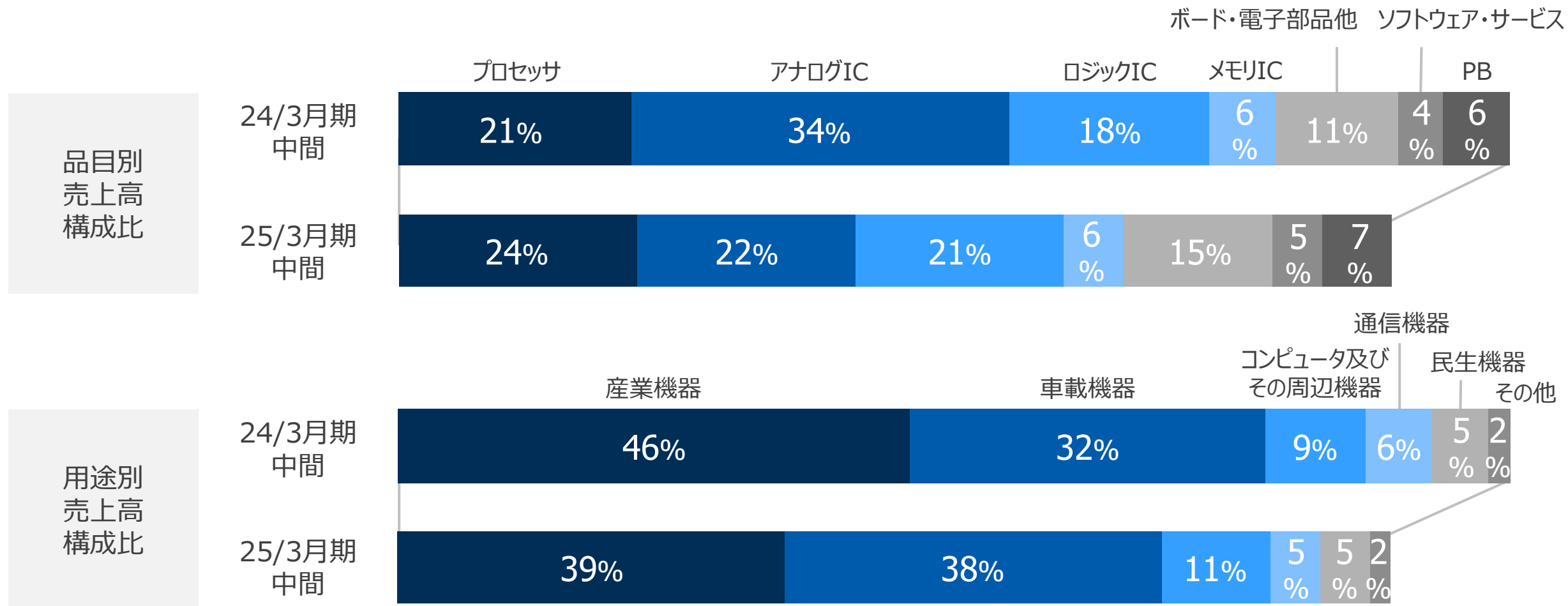
セグメント情報 CN事業

- ストレージ関連製品 システムインテグレーター向け好調
- セキュリティ関連製品他 システムインテグレーター エンタープライズ向け好調
- 保守・監視サービス堅調



セグメント情報 EC事業

- 産業機器 顧客在庫は高水準が継続 メーカー直販化によるアナログIC減少もあり 低調
- 車載機器 商権拡大により プロセッサ ロジックIC ボード・電子部品他が増加



海外連結子会社 売上高 EC事業

- コンピュータ及びその周辺機器向け 回復傾向

	2024年3月期 中間	2025年3月期 中間	増減額	増減率
海外連結子会社 売上高(百万円)	25,876	26,406	530	2.0%
海外連結子会社 売上高比率	24.6%	28.1%		
海外連結子会社 売上高(M\$)	183	172	▲ 10	▲ 5.8%
為替レート(円)	141.06	152.78		

※ 売上高比率は EC事業の売上高に対する比率です。

- TED 設計・量産受託サービスは前期同水準
ウェーハ検査装置の納入が本格化し増加
- TED長崎 産業・電力機器向け堅調も 半導体製造装置向けは低調
- ファースト 検査システム堅調

(百万円)

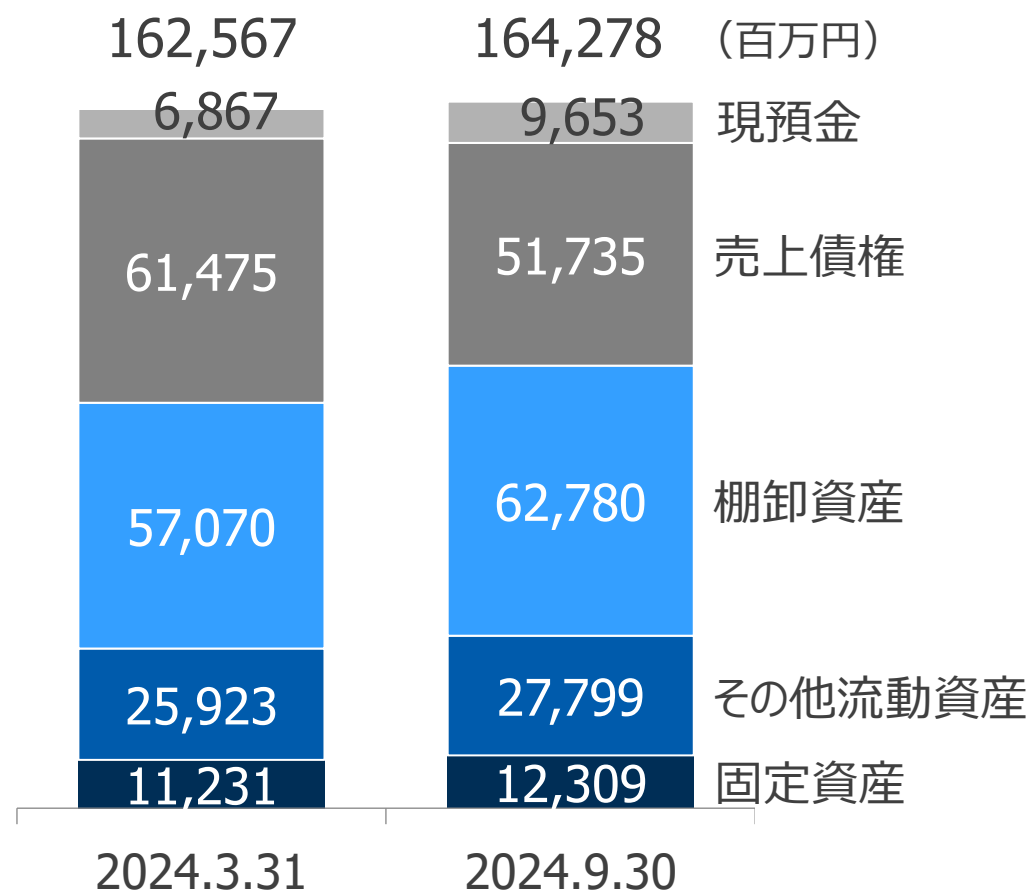
	2024年3月期 中間	2025年3月期 中間	増減額	増減率
PB事業売上高	6,776	6,986	209	3.1%
売上高比率	6.4%	7.4%		

※ 売上高比率は EC事業の売上高に対する比率です。

貸借対照表

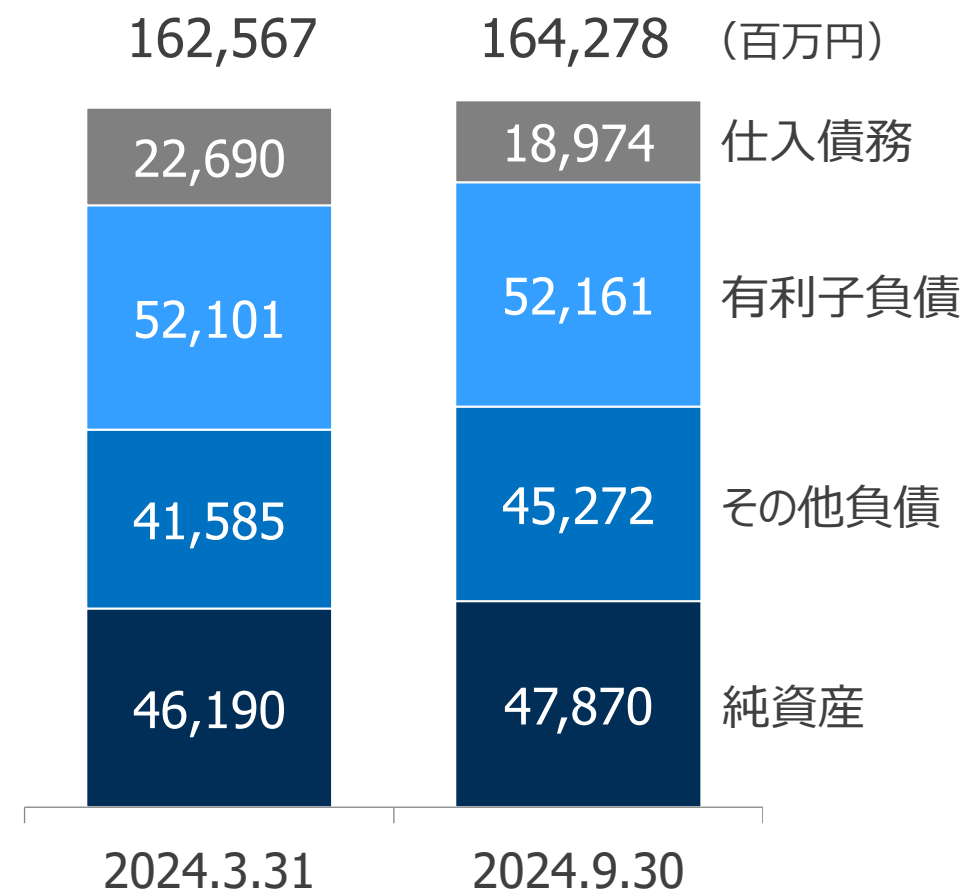
資産

- 前4Q比で売上高が減少し 売上債権減少
- 商権拡大に伴い 棚卸資産増加

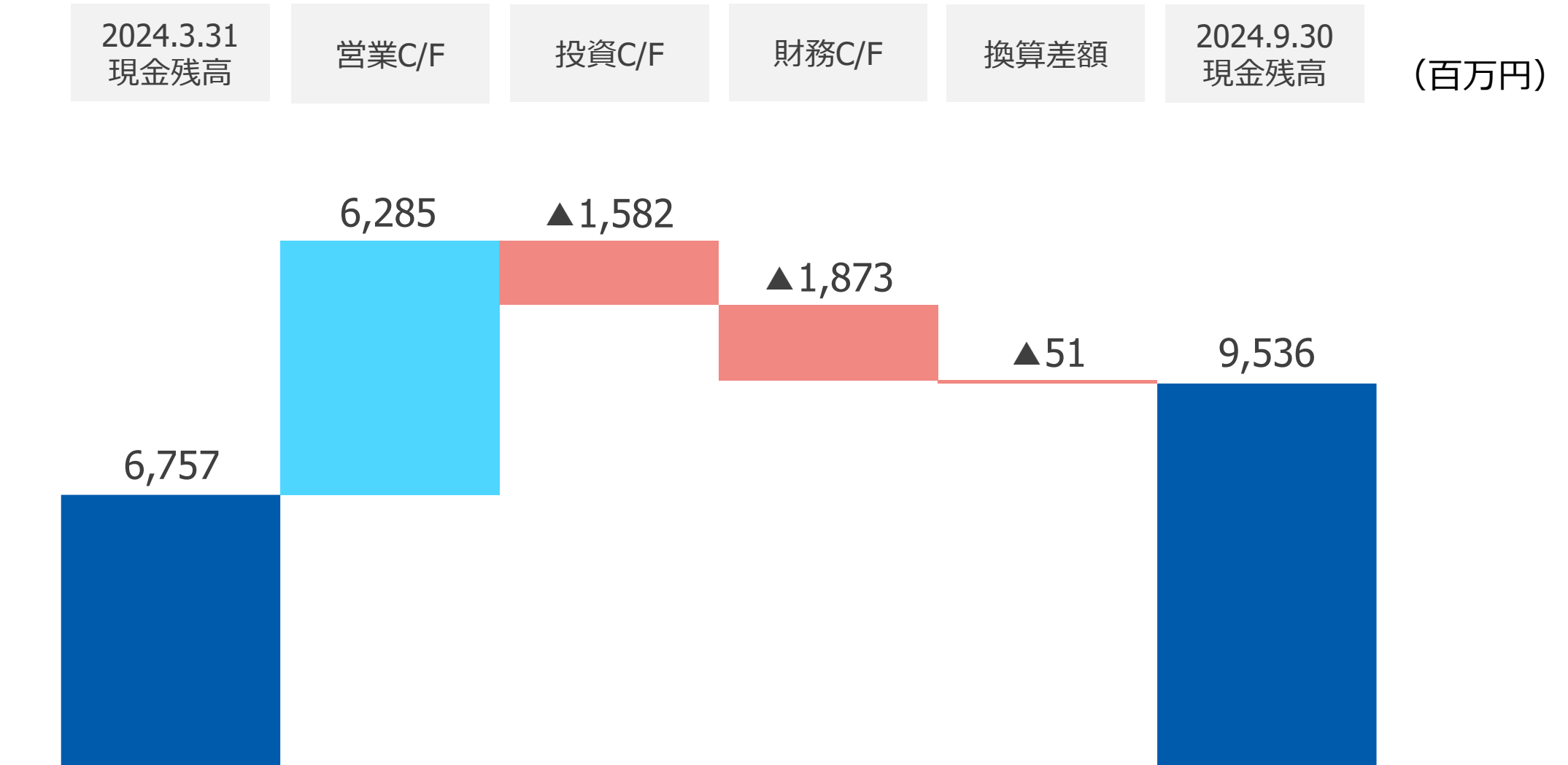


負債・純資産

- 仕入高減少に伴い 仕入債務減少
- 保守サービス伸長により 前受金増加

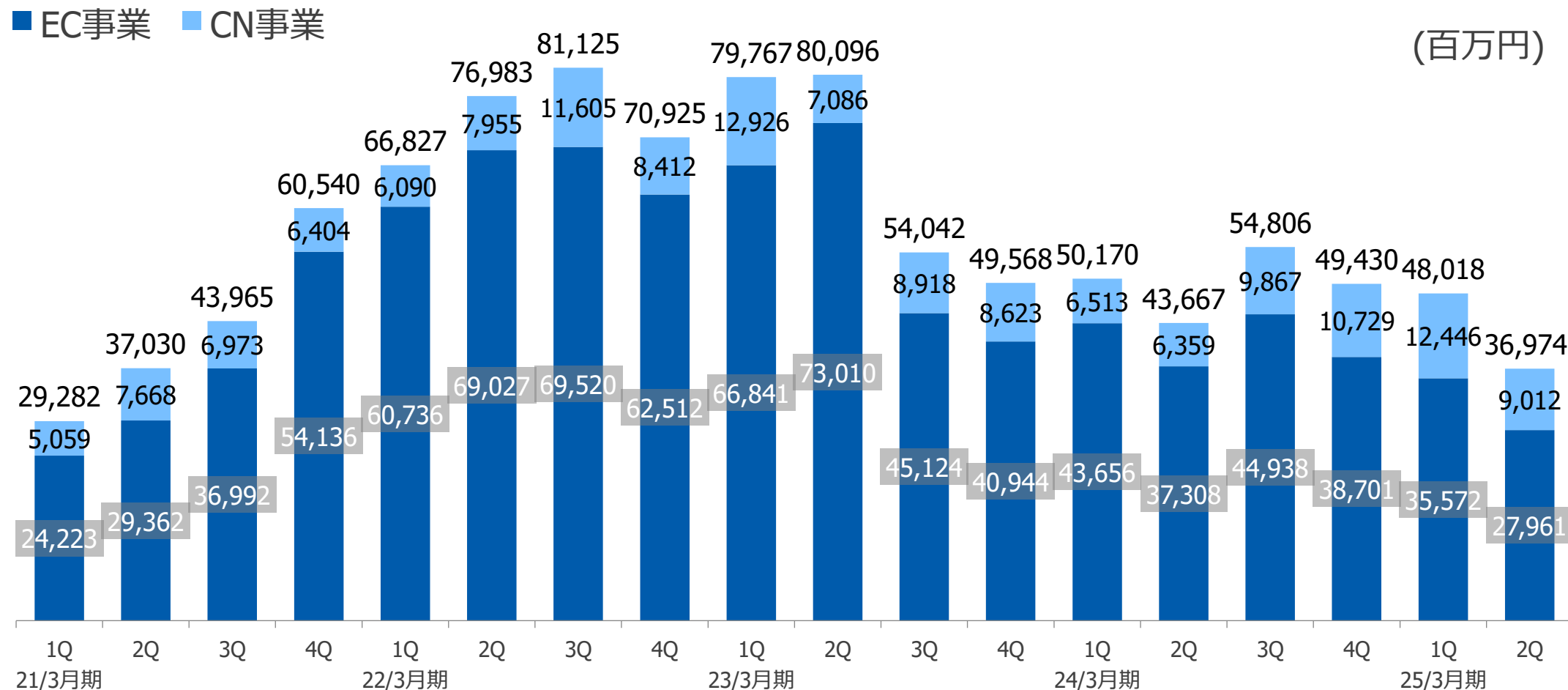


キャッシュ・フロー計算書



受注高の推移

- CN事業 IT投資堅調 2024年3月期3Q以降大型案件あり セキュリティ製品は受注好調
- EC事業 長期受注の反動減と顧客在庫の高水準が継続





2025年3月期 業績見込み

代表取締役社長・CEO

徳重 敦之

コーポレートオフィサー 執行役員専務

宮本 隆義

コーポレートオフィサー 執行役員

神本 光敬

通期業績は 売上高・経常利益・当期純利益とも 期初の見込みから変更無し

CN事業は セキュリティを中心に IT市場が堅調に推移

EC・PB事業は 市況の回復基調への転換期が 第4四半期以降へ後ろ倒し

事業計画前提

		2024年3月期	2025年3月期		2026年3月期
		下期	上期	下期	上期
		調整期	底入期		回復期
E C ・ P B	半導体・ウェア市況	サプライチェーンにおける在庫 高水準	徐々に在庫水準適正化へ		
	中国市況	停滞の長期化	徐々に回復基調		
	産業機器	中国市況の影響により低調	徐々に回復基調		
	車載機器	堅調に推移			
	商権	一部メーカー直販の本格化	新規顧客商権の寄与		
C N	市況動向	セキュリティ中心にIT市場は堅調に推移			
	新規代理店契約	新規契約の獲得			
為替動向		前年比 円安で推移	緩やかな円高で推移 (期初想定比)		

2025年3月期 業績見込み

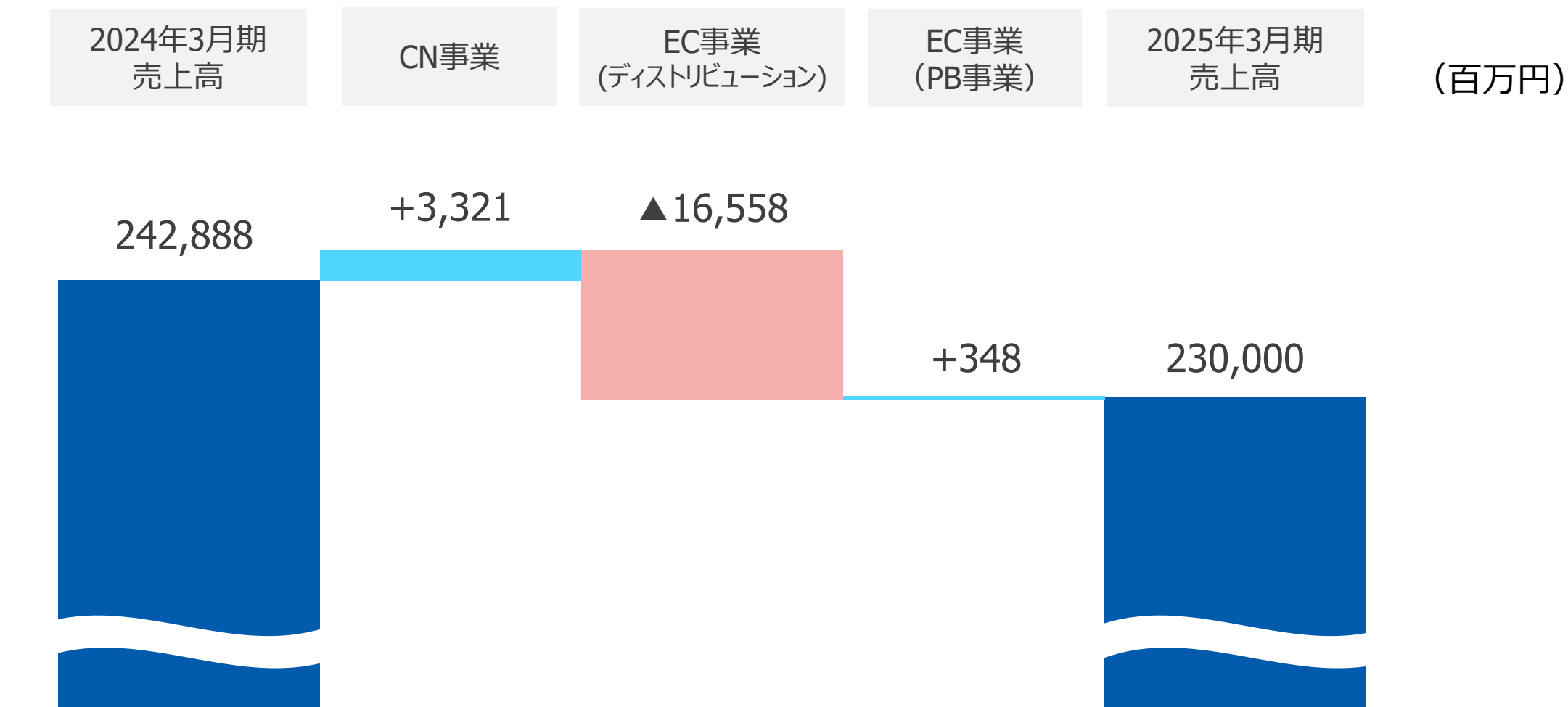


(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期			対前期比	
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	242,888	111,712	118,287	230,000	▲ 12,888	▲ 5.3%
CN事業	32,978	17,687	18,612	36,300	3,321	10.1%
EC事業(連結)	209,909	94,024	99,675	193,700	▲ 16,209	▲ 7.7%
EC事業	195,658	87,038	92,061	179,100	▲ 16,558	▲ 8.5%
PB事業	14,251	6,986	7,613	14,600	348	2.4%
経常利益 (利益率)	13,922 (5.7%)	6,147 (5.5%)	6,552 (5.5%)	12,700 (5.5%)	▲ 1,222	▲ 8.8%
当期純利益 (利益率)	9,986 (4.1%)	4,305 (3.9%)	4,394 (3.7%)	8,700 (3.8%)	▲ 1,286	▲ 12.9%

※ 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益

2025年3月期 業績見込み 売上高 増減



セグメント区分では、PB事業はEC事業に含まれております。
PB事業には、東京エレクトロン デバイス長崎株式会社、株式会社ファーストを含んでおります。

利益成長に向けた取り組み

メーカー機能 及び サービスビジネス の強化を中心とした 有望事業の推進

CN事業

新規商材の取り扱い開始

ストックビジネスの拡充

- ・自社サービス
- ・技術コンサルティングサービス

EC事業

取り扱い商材の拡大

ソリューションビジネスの推進
(PBとの連携)

クラウドAI・エッジAI ビジネス強化

- ・Microsoft を中核とした
サービス・ソリューションの提供

PB事業

ウェーハ検査装置事業の強化

- ・ウェーハ検査装置納入 本格開始
- ・技術共有
- ・国内外ウェーハメーカーへの販促

TED長崎の製造ライン強化

ビジョンオートメーションシステム強化

変化を先取りした技術・製品への取り組み



海外拠点と連携し最新テクノロジーを常に調査し
最適なソリューションを発掘



対応領域の拡充（例：セキュリティ）

クラウドセキュリティ



SaaSセキュリティ



ネットワーク&アプリケーション



アタックサーフェス管理



ゼロトラストセキュリティ



シークレット管理・運用自動化



エンドポイントセキュリティ



セキュリティ情報イベント管理





PoC／PoV 支援

導入効果、技術など
お客様の目的に合わせた
検証をサポート

クラウドインテグレーション

クラウドへの移行における
お客様のフェーズに合わせた
技術サポート

保守・技術サポート

ハードウェア保守
ヘルプデスク
サポートサイトでの技術情報

カスタマサクセス

ご利用状況を可視化、分析し
導入効果をさらに上げる
施策の実施を支援

オンボーディング

導入初期に
効果を最大化を目指した
トレーニング

インストール

経験豊富な
認定エンジニアによる
構築作業

運用・監視

24時間365日
「ワンストップ」で運用・監視
SOCサービス
NOCサービス

アカウントサービス

お客様が直面する様々な
課題の解決を
専任エンジニアが支援

成長市場 × ニーズ変化

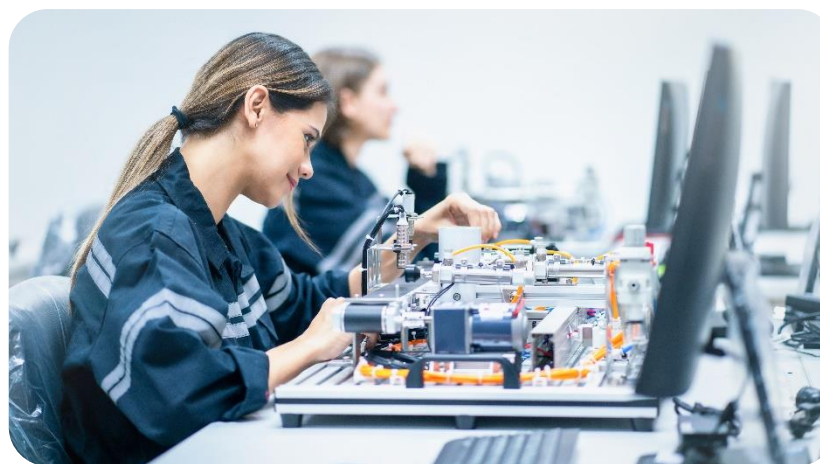
研究開発

新たな計測・検査技術開発



モノづくりインフラ

開発・生産・システム基盤強化



M&A

ビジネス成長の加速



半導体ウェーハ

- Si/化合物ウェーハ（ウェーハ製造）
- アドバンストパッケージ工程（デバイス製造）

強化・加速



ウェーハ検査装置

液晶パネル

- 既存顧客のビジネスを堅持

最適化



パネル検査装置

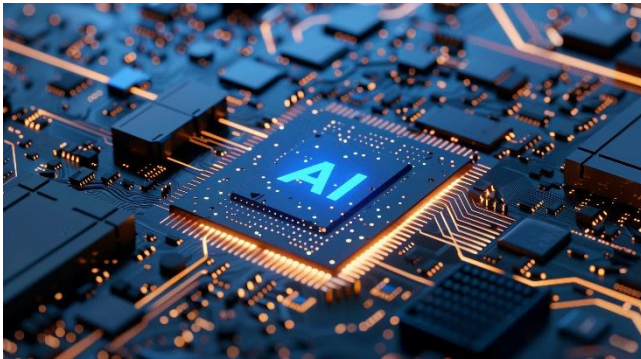
電子部品

- 製造工程内の未解決検査ニーズ

新規開発



クアルコム社と 販売代理店契約を締結



Qualcomm

高性能・低消費電力の
組込み向けNPU搭載SoC および
SoC搭載モジュール・基板製品の販売を開始

産業機器分野の
エッジAI活用を推進

※ NPU : AI専用のプロセッサ

セレブラス社 CS-3を活用し 独自大規模言語モデルを開発



cerebras

自社保有データを活用した日本語対応の
大規模言語モデルを開発
今後生成AIのユースケースを構築へ

企業の独自生成AI開発を支援

株式会社ファーストを 吸収合併



FAST

経営資源の最大効率運用と
人的資本の集約による開発体制の再構築

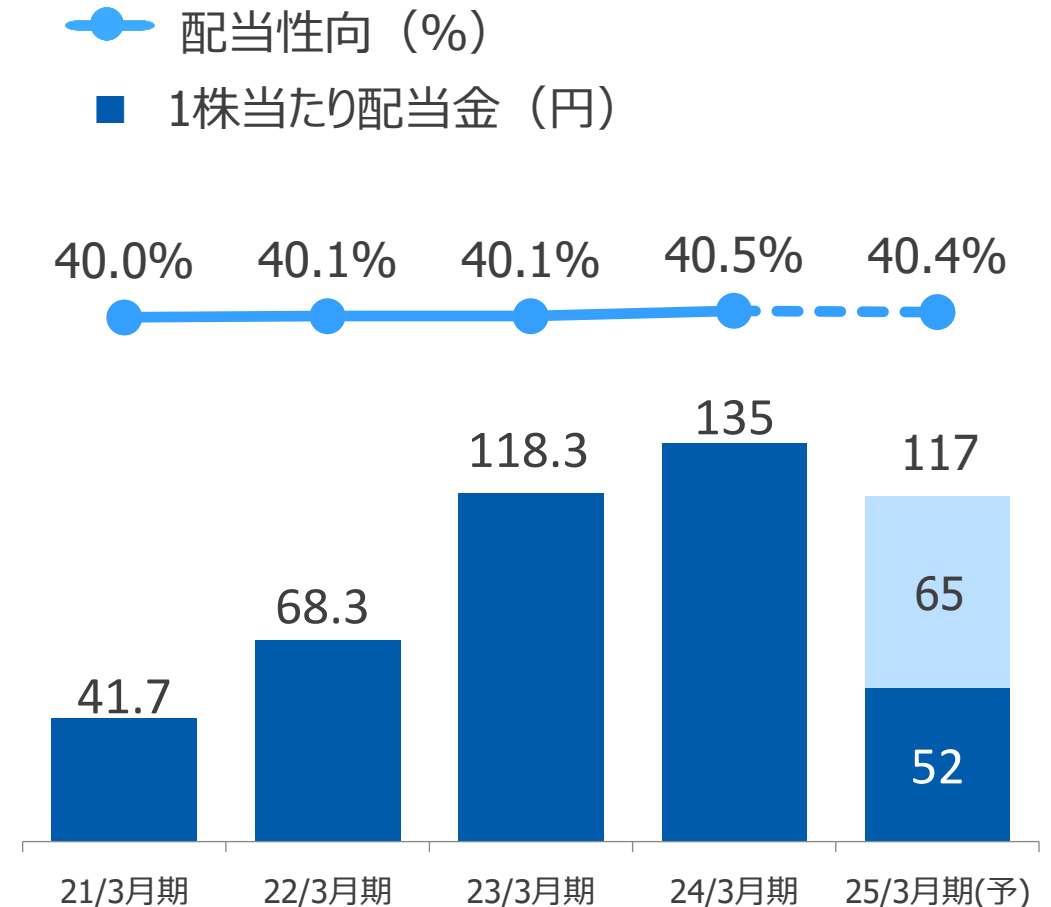
技術開発基盤の強化

1株当たり配当金

(円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
中間	48.3	61	52
期末	70	74	(予定) 65
合計	118.3	135	(予定) 117

配当金・配当性向



配当政策

- 配当性向 40%
- 安定的・継続的な配当

※ 2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施（2023年9月以前の配当金額は当該株式分割が行われたと仮定して記載）



本資料に関する注意事項

本資料で述べられている将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因により、今後の業績見通しが本資料と異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。

また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

本資料に掲載された会社名、製品名、サービス名ならびにロゴは、各社の商標または登録商標です。



補足資料

● 中期経営計画の振り返りと展望	P 30
● VISION2025 : 事業環境とMISSION	P 31
● 当社のVISION	P 32
● VISION2030 : MISSIONとVISION	P 33
● 全社方針と事業別運営方針	P 34
● 財務モデルと資本政策	P 35
● サステナビリティへの取り組み	P 36
● 中期経営計画 実績と計画	P 37
● 損益計算書	P 38-39
● CN事業 品目別売上高構成	P 40
● EC事業 品目別 / 用途別売上高構成	P 41-42
● 品目	P 43
● 受注残高の推移	P 44

VISION2020

2016年3月期 – 2021年3月期

技術商社
×
メーカー機能

成長エンジンの構築

(2021年3月期実績)

売上高 : 1,432 億円
経常利益率 : 3.2 %
ROE : 11.4 %

VISION2025

2022年3月期 - 2025年3月期

技術商社機能を持つ
メーカーへ

成長ビジネスの立ち上げ

(2024年3月期実績)

売上高 : 2,428 億円
経常利益率 : 5.7 %
ROE : 25.1 %

VISION2030

2026年3月期 – 2030年3月期

メーカーと
技術商社の力で
社会課題を解決

利益成長の加速

(2030年3月期目標)

売上高 : 3,000 ~ 3,500 億円
経常利益率 : 8.0 %以上
ROE : 20.0 %以上

想定する事業環境

Society 5.0 の到来

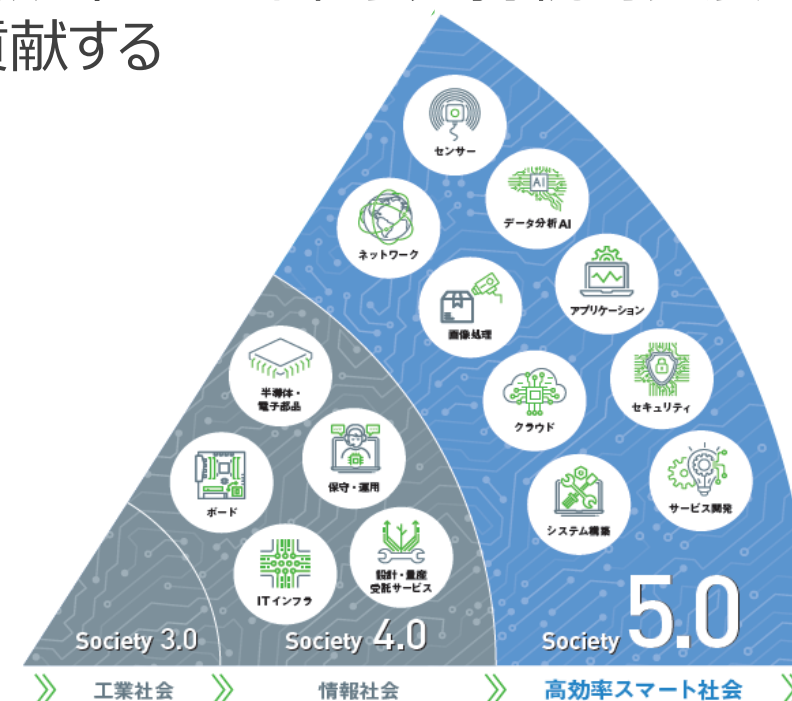
低成長経済下における
高効率スマート社会



当社のMISSION

DRIVING DIGITAL TRANSFORMATION

デジタルトランスフォーメーションを
実現する製品・サービスを提供し
高効率スマート社会の持続的発展に
貢献する



技術商社機能を持つメーカーへ

進化する技術商社機能

- データ・サービス・ストックビジネスを利益源泉とするビジネスモデル
- メーカー事業の成長に資する顧客基盤の維持・拡大
- 安定的な利益基盤の構築

メーカーとして目指す形

- モノづくりシステムメーカー
- ODMメーカー
- 課題解決型の設計開発部門
- 高効率スマート工場

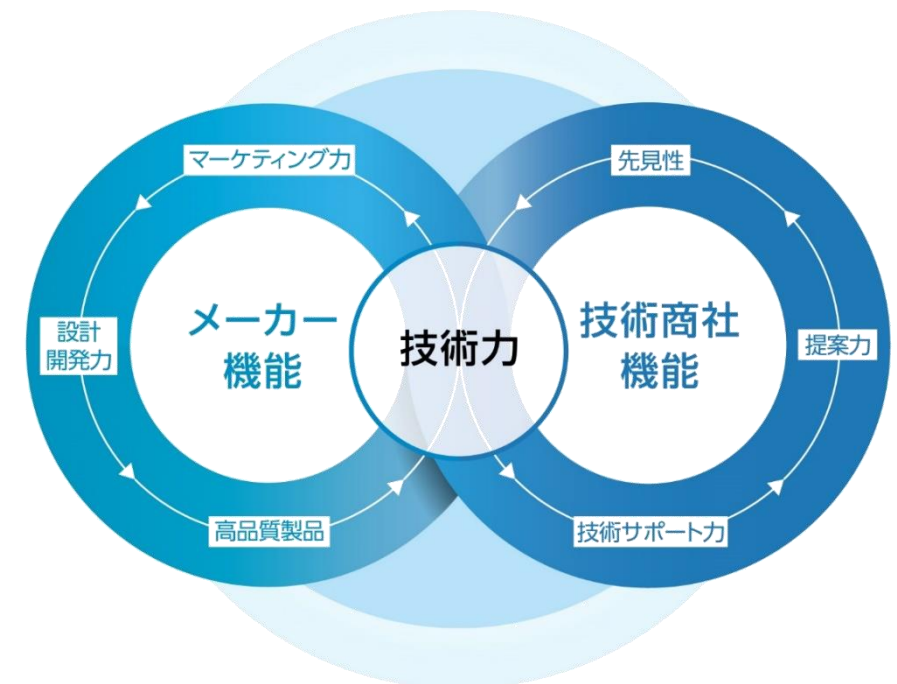
MISSION

半導体やITを中心とする最先端テクノロジーを通して
社会課題に向き合い
期待を超える価値を持つ解決策を提供することで
社会の持続的発展に貢献する



VISION

メーカーと技術商社の力で
潜在的な社会課題を解決する会社



「メーカー」と「技術商社」の力により 潜在的な社会課題（顧客課題）の解決を図る

- 全てのビジネスユニットが、自社製品（サービス）開発にも取り組みグループシナジーを創出することにより、期待を超える価値を持つ課題解決策を提案する
- 潜在的課題に対するマーケティング強化のため、技術商社部門は新規代理店権と顧客商権の獲得を推進する
- 課題解決を可能とする事業基盤の早期確立に向け、積極的にM & Aを活用する

持続的な利益成長に資する行動を推進する

- 差別化できる自社製品（サービス）開発に向けた積極的な投資を行う
- フロー型からストック型サービスビジネスへの移行を推進する
- 中長期利益の拡大に向けた投資（研究開発、人材採用、社員教育等）を行う

CN事業

- 顧客のニーズを理解し、DXを支えるソリューションとサービスを提供
- 顧客のデジタル技術活用を支援し、顧客満足度を向上

EC事業

- 産業機器、車載関連機器、クラウドサービス、OTセキュリティ分野などの成長マーケットに注力
- 半導体の専門知識を生かし、ソリューション型ビジネスを展開

PB事業

- 計測・検査技術を核に、ウェーハ検査装置を中心とした製品をグローバルに提供
- 半導体関連技術と高品質な開発・製造基盤を生かし、医療ODM及び基板OEMのサービスを強化

財務モデル（目標とする経営指標）

「増益増収」による持続的な利益成長を目指す

※ 増益増収：増益率＞増収率

2030年3月期

- 売上高 **3,000 ~ 3,500** 億円
- 経常利益率 **8 %以上**
- ROE（株主資本） **20 %以上**

	売上高構成比	目標経常利益率
CN事業	15 %	12 %
EC事業	75 %	7 %
PB事業	10 %	10 %

資本政策

持続的な利益成長による企業価値のさらなる向上

成長投資

持続的な
成長への投資

- 技術開発・事業拡大に向けた積極的な投資（M&A含む）
- 競争力強化を目的とした社内DX、社外DXへの投資
- 人材育成への積極的な投資

株主還元

利益成長による
長期的な高リターン

- 持続的な利益成長を実現し企業価値向上
- 業績に応じた株主還元（配当性向：40%目安）

財務健全性

財務体質の強化と
適切な財務レバレッジ

- 自己資本比率：40%以上
- ROE：20%以上
- 適正な在庫水準の維持

基本方針

- 事業を通じて提供する様々なソリューションによって、豊かな暮らしと持続的な社会の発展へ貢献します
- マテリアリティ（重要課題）の解決に取り組むことで、当社グループの持続的な発展・企業価値の向上を目指します

マテリアリティ（重要課題）

1. 当社が培ってきたエレクトロニクス及びITを中心としたリソースを活かし、持続的な社会の実現に貢献する。
2. 基本的人権の尊重を根幹に据え、働きやすさ・働きがいを意識した労働環境と人事制度を構築し、会社の永続的な発展を目指す。
3. 企業活動により生じる環境負荷（環境リスク）を軽減し、社会と会社が持続可能な関係を継続する。

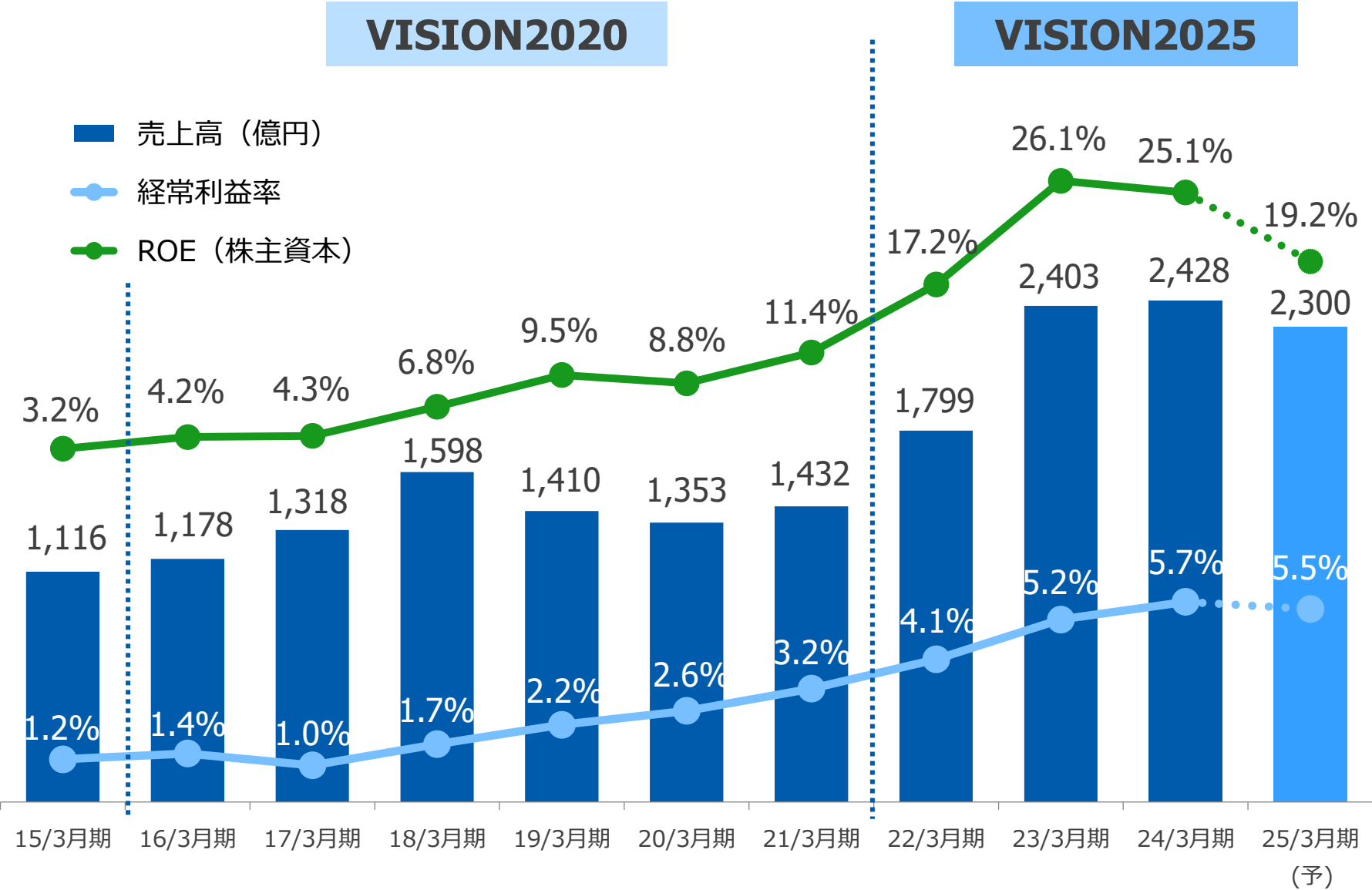


人的資本／多様性

- グローバルな視点で顧客満足を追求できる人材の育成
- 社員の向上意欲を支援し、個々の能力を伸ばす環境を整備
- 次世代リーダーの育成に注力

気候変動

- 2050年度 カーボンニュートラルを目指し、2030年度の目標を設定（2021年度対比 50%削減）
- 2023年10月よりエンジニアリングセンター（横浜市都筑区）を実質再生可能エネルギー由来の電力に切り替え



VISION2030 財務指標

売上高	3,000 ～ 3,500億円
経常利益率	≧ 8.0%
ROE (株主資本)	≧ 20.0%

※ 2024年4月30日公表

VISION2025 財務指標

売上高	2,000 億円 ±10%
経常利益率	> 5.0%
ROE (株主資本)	> 15.0%

※ 2020年5月15日公表

損益計算書



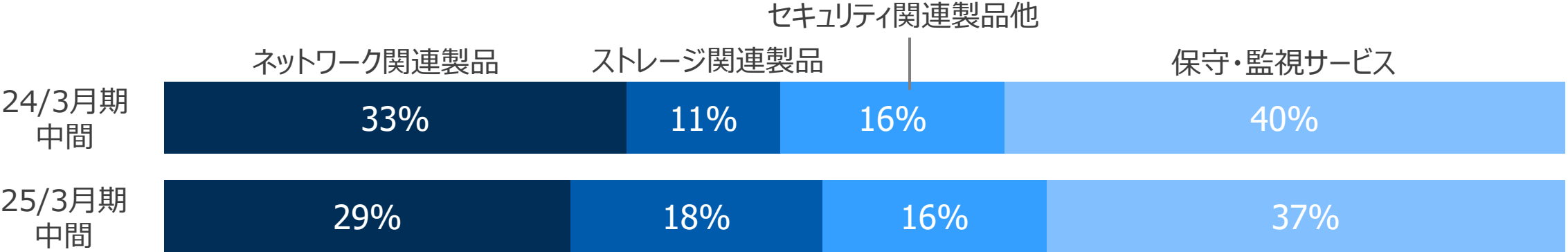
(百万円)

	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	50,677	61,091	64,127	64,453	59,012	60,685	60,049	63,140	56,607	55,105		
CN事業	5,407	7,263	7,191	9,393	7,099	7,253	6,587	12,037	8,741	8,946		
EC事業	45,270	53,828	56,935	55,059	51,912	53,431	53,462	51,102	47,865	46,158		
売上原価	43,247	52,459	55,409	54,990	50,091	51,594	51,049	52,984	47,411	47,876		
売上総利益	7,430	8,632	8,717	9,463	8,921	9,090	8,999	10,156	9,195	7,228		
利益率	14.7%	14.1%	13.6%	14.7%	15.1%	15.0%	15.0%	16.1%	16.2%	13.1%		
販管費及び一般管理費	4,472	5,016	4,881	5,645	5,292	5,565	5,292	5,588	4,942	5,188		
営業利益	2,957	3,615	3,835	3,817	3,628	3,524	3,707	4,568	4,252	2,040		
利益率	5.8%	5.9%	6.0%	5.9%	6.1%	5.8%	6.2%	7.2%	7.5%	3.7%		
営業外収益	39	120	35	72	69	116	164	64	72	130		
営業外費用	836	688	585	-94	554	530	408	427	711	-363		
経常利益	2,160	3,048	3,285	3,984	3,143	3,110	3,463	4,204	3,614	2,533		
利益率	4.3%	5.0%	5.1%	6.2%	5.3%	5.1%	5.8%	6.7%	6.4%	4.6%		
CN事業	381	522	131	984	579	683	712	1,487	1,153	1,015		
EC事業	1,779	2,525	3,153	3,000	2,563	2,426	2,750	2,717	2,460	1,517		
特別利益	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0		
特別損失	0	2	0	6	0	1	32	4	0	1		
税引前当期純利益	2,160	3,045	3,284	3,978	3,147	3,109	3,430	4,200	3,614	2,531		
利益率	4.3%	5.0%	5.1%	6.2%	5.3%	5.1%	5.7%	6.7%	6.4%	4.6%		
当期純利益	1,501	2,147	2,325	2,904	2,210	2,390	2,544	2,935	2,506	1,811		
利益率	3.0%	3.5%	3.6%	4.5%	3.7%	3.9%	4.2%	4.6%	4.4%	3.3%		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,479	2,104	2,316	2,876	2,186	2,364	2,519	2,915	2,494	1,810		
利益率	2.9%	3.4%	3.6%	4.5%	3.7%	3.9%	4.2%	4.6%	4.4%	3.3%		

損益計算書

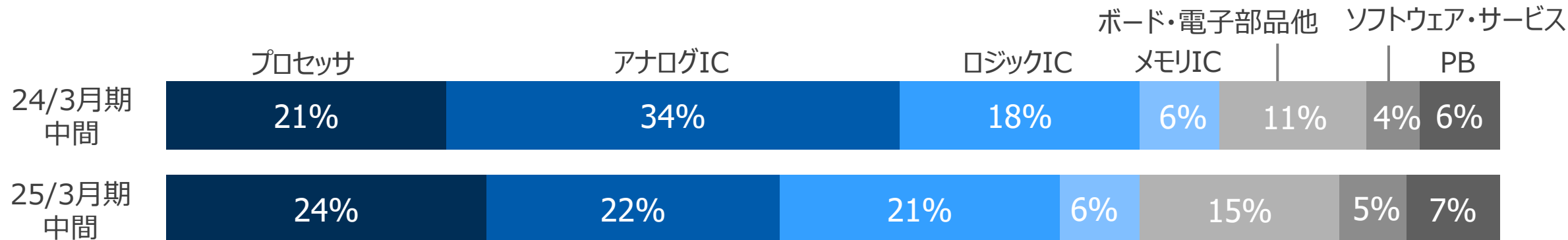
		2024年3月期													
		1Q		2Q		上期		3Q		4Q		下期		通期	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
売上高		59,012	16.4%	60,685	-0.7%	119,698	7.1%	60,049	-6.4%	63,140	-2.0%	123,190	-4.2%	242,888	1.1%
	CN事業	7,099	31.3%	7,253	-0.1%	14,353	13.3%	6,587	-8.4%	12,037	28.2%	18,625	12.3%	32,978	12.7%
	EC事業	51,912	14.7%	53,431	-0.7%	105,344	6.3%	53,462	-6.1%	51,102	-7.2%	104,565	-6.6%	209,909	-0.6%
売上原価		50,091	15.8%	51,594	-1.6%	101,686	6.2%	51,049	-7.9%	52,984	-3.6%	104,034	-5.8%	205,720	-0.2%
売上総利益		8,921	20.1%	9,090	5.3%	18,011	12.1%	8,999	3.2%	10,156	7.3%	19,156	5.4%	37,168	8.5%
販管費及び一般管理費		5,292	18.3%	5,565	11.0%	10,858	14.4%	5,292	8.4%	5,588	-1.0%	10,880	3.4%	21,739	8.6%
営業利益		3,628	22.7%	3,524	-2.5%	7,153	8.8%	3,707	-3.4%	4,568	19.7%	8,275	8.1%	15,428	8.4%
経常利益		3,143	45.5%	3,110	2.0%	6,253	20.1%	3,463	5.4%	4,204	5.5%	7,668	5.5%	13,922	11.6%
	CN事業	579	52.1%	683	31.0%	1,263	39.9%	712	440.4%	1,487	51.1%	2,200	97.1%	3,463	71.5%
	EC事業	2,563	44.1%	2,426	-3.9%	4,990	15.9%	2,750	-12.8%	2,717	-9.4%	5,468	-11.1%	10,459	0.0%
税引前当期純利益		3,147	45.7%	3,109	2.1%	6,256	20.2%	3,430	4.4%	4,200	5.6%	7,631	5.1%	13,887	11.4%
当期純利益		2,210	47.3%	2,390	11.3%	4,601	26.1%	2,544	9.4%	2,935	1.1%	5,480	4.8%	10,081	13.5%
親会社株主に帰属する当期純利益		2,186	47.8%	2,364	12.3%	4,551	27.0%	2,519	8.8%	2,915	1.4%	5,435	4.7%	9,986	13.8%
		2025年3月期													
		1Q		2Q		上期		3Q		4Q		下期		通期	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
売上高		56,607	-4.1%	55,105	-9.2%	111,712	-6.7%								
	CN事業	8,741	23.1%	8,946	23.3%	17,687	23.2%								
	EC事業	47,865	-7.8%	46,158	-13.6%	94,024	-10.7%								
売上原価		47,411	-5.3%	47,876	-7.2%	95,288	-6.3%								
売上総利益		9,195	3.1%	7,228	-20.5%	16,423	-8.8%								
販管費及び一般管理費		4,942	-6.6%	5,188	-6.8%	10,131	-6.7%								
営業利益		4,252	17.2%	2,040	-42.1%	6,292	-12.0%								
経常利益		3,614	15.0%	2,533	-18.5%	6,147	-1.7%								
	CN事業	1,153	99.0%	1,015	48.5%	2,168	71.7%								
	EC事業	2,460	-4.0%	1,517	-37.5%	3,978	-20.3%								
税引前当期純利益		3,614	14.8%	2,531	-18.6%	6,146	-1.8%								
当期純利益		2,506	13.4%	1,811	-24.2%	4,318	-6.1%								
親会社株主に帰属する当期純利益		2,494	14.1%	1,810	-23.4%	4,305	-5.4%								

CN事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
ネットワーク 関連製品	8.0%	システムインテグレーター向け 大型案件あり増加	アリスタネットワークス F5
ストレージ 関連製品	96.5%	AI需要などにより システムインテグレーター向け 大型案件あり好調	ピュアストレージ
セキュリティ 関連製品他	26.3%	システムインテグレーター エンタープライズ向け クラウドセキュリティ好調	ネットスコープ センチネルワン ニュータニックス
保守・監視サービス	14.4%	システムインテグレーター向けネットワーク関連製品 通信事業者向けストレージ関連機器の保守好調	TED

EC事業 品目別売上高構成



品目	増減率	主な要因	主な仕入れ先
プロセッサ	▲0.6%	商権拡大で車載機器向け大幅増も メーカー直販化や通信機器の需要減により微減	インフィニオン / NXP / TI / インテル
アナログIC	▲42.8%	メーカー直販化により 産業機器 車載機器 通信機器向け減少	TI / NXP / ams-OSRAM AG
ロジックIC	7.1%	メーカー直販化の影響あるも 商権拡大で車載機器向け増加	インフィニオン / NXP / TI / ラティス / マックスリニア
メモリIC	▲12.5%	車載機器以外の分野で需要減	インフィニオン / エルピーダ
ボード・電子部品他	22.2%	商権拡大で車載機器向けが増加 半導体製造装置等の産業機器向けは低調	NXP / ウェスタンデジタル / PFU / インテル / ams-OSRAM AG / アバールデータ
ソフトウェア・サービス	21.5%	クラウドサービスと組み込み機器向けセキュリティが増加	マイクロソフト / デル・テクノロジーズ / トリックス
PB	3.1%	ウェーハ検査装置寄与で増加 設計・量産受託サービスは前期同水準	TED / TED長崎 / ファースト

EC事業 用途別売上高構成



用途	増減率	主なアプリケーション	当社の傾向
産業機器	▲23.5%	医療機器／分析装置 半導体製造装置 FA機器 工業用ロボット 加工機 計測器 制御システム 電子部品実装関連装置 インバータ	FA 半導体製造装置向けなど需要減少 メーカー直販化でアナログIC減少 ウェーハ検査装置寄与でPB増加
車載機器	6.9%	カーナビゲーション 車載計器 先進運転支援システム ディスプレイ 車載ECU（電子制御ユニット） リチウムイオンバッテリー 車載用インバータ	商権移管でプロセッサ ロジックIC 電子部品増加 アナログICはメーカー直販化で減少
コンピュータ及びその周辺機器	10.1%	複合プリンタ POSシステム ストレージ／サーバー プロジェクタ PC及び付属機器	PC向けプロセッサ プリンタ向け検査装置増加
通信機器	▲33.1%	5G基地局 光伝送装置 衛星通信機器 ワイヤレスIPネットワーク機器	通信基地局向けプロセッサ減少 メーカー直販化によりアナログICも減少
民生機器	▲20.6%	電子楽器 家庭用ゲーム機 デジタルカメラ エアコン TV/HDDレコーダ 家庭用燃料電池	メーカー直販化でカメラ向けアナログIC減少 電子楽器向けのロジックIC 電子部品も減少

	品目	主な製品	機能
CN事業	ネットワーク関連製品	ネットワーク負荷分散装置 イーサネットスイッチ	インターネットの接続負荷の分散 スイッチングハブ
	ストレージ関連製品	フラッシュストレージ	大容量データに高速に接続、記憶する
	セキュリティ関連製品他	エンドポイント ネットワーク クラウド	コンピュータシステム、ネットワーク、データなどを、攻撃や 破損、不正アクセスから保護する
	保守・監視サービス	機器の保守サービス セキュリティ監視サービス	
EC事業	プロセッサ	CPU DSP	電子機器の頭脳 演算機能・制御機能
	アナログIC	アナログIC	色々な用途に共通に使用されるIC
	ロジックIC	画像処理用IC 通信・ネットワーク用IC ASIC PLD	論理回路をパッケージ化したIC 特定用途向けに作ら れた専用IC お客様の仕様に応じて作られる固有IC
	メモリIC	SRAM FRAM MRAM フラッシュメモリ	記憶用IC 書込み読出しが可能なものや 読出しのみのものがある
	ボード・電子部品他	ボード 電源 光学部品	プリント配線基板上にIC 電源 コネクタなどの部品を 実装した製品（ボード）
	ソフトウェア・サービス	ソフトウェア クラウドサービス	企業向け産業機器に組み込まれるソフトウェア サブスクリプションでのサービス提供
	PB	設計・量産受託サービス 自社ブランド製品	お客様の仕様に応じた基板の設計・開発・量産 製造業向け機器

受注残高の推移

(百万円)

